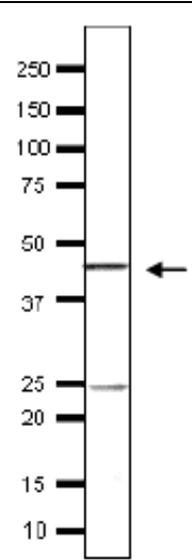


## 抗 Taf11 (*S. cerevisiae*) 抗体、ウサギ抗血清

商品コード	62-017
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.1% アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	組換え体 His-tag Taf11 (1-176 aa)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	出芽酵母 Taf11 他の種では試していない。
アプリケーション	ウェスタンブロッティング(1/500-1/1,000)。他の用途はテストしていない。
背景	基本転写因子 TFIID は、真核生物の遺伝子発現調節において中心的な役割を果たすことが知られており、TATA ボックス結合タンパク質 (TBP) と 14 種類の TBP 随伴タンパク質 (TAF) から成る巨大なタンパク質複合体である。TFIID は、転写開始点近傍に存在する各種のコアプロモーターエレメントを直接認識して結合し、他の基本転写因子群が集まるための足場を形成するとともに、転写調節因子に由来する転写活性化シグナルを RNA ポリメラーゼ II に伝達する役割を持つとされている。Taf11p は TFIID サブユニットの一つであり、出芽酵母の場合、346 個のアミノ酸残基 (aa) から構成される(分子量 40,619)。
Data Link	SDG <a href="#">TAF11/YML015C</a>
画像	 <p>図 抗 Taf11 抗体を用いたウェスタンブロッティングによる出芽酵母粗抽出液中の内源性 Taf11 の検出。 抗体は 500 倍希釈で用いた。40.6 kDa のバンド。</p>
文献	<p>本抗体は下記の論文に記載され、使われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Takahata S et al "Autonomous function of the amino-terminal inhibitory domain of TAF1 in transcriptional regulation." <i>Mol Cell Biol</i> <b>24</b>: 3089-3099 (2004) PMID: <a href="#">15060133</a></li> <li>2. Kasahara K. et al. <i>Saccharomyces cerevisiae</i> HMO1 interacts with TFIID and participates in start site selection by RNA polymerase II. <i>Nucleic Acid Res.</i> 2008 Mar;36(4):1343-57. doi: 10.1093/nar/gkm1068 PMID: <a href="#">18187511</a></li> </ol>
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	